

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	好日苑		施設番号	K184
項目	前年度の評価結果に基づく現状分析 (平成21年度)	改善計画 (平成21年度末年度末時点)	実施状況 (平成22年10月1日時点)	
カテゴリ5 について	外部研修参加や内部研修で、職員のレベルアップを図る努力は行っているが、全職員の業務不安を解消するまでには至っていない。 職員が求める内部研修の実施とケアワーカーの能力向上を図るための研修計画が必要	本新館会議を主軸とした、現場職員が求める内部研修の充実(計画的実施)。 また、現場リーダーを外部研修へ積極的に参加させる		
カテゴリ6 について	H21年度減少した入院日数を増加させない為、更に【食】をひろく考える委員会を中心として、入院者数の減少を試みる	【食】をひろく考える。委員会で食事環境や衛生面も含む広い視野で、入居者のQOLの向上を図る 経口移行への取り組み (胃婁から経口摂取への取り組み)		
カテゴリ6 について	リハビリ専門職が配置されておらず、個別機能訓練計画ができていない。	リハビリ専門職が行う機能訓練でなくとも、日常生活で個別にADL維持・向上につながるような取り組みを行う		

この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。